

## 【表紙】

【提出書類】	有価証券報告書の訂正報告書
【根拠条文】	証券取引法第24条の2第1項
【提出先】	東海財務局長
【提出日】	平成18年12月25日
【事業年度】	第9期（自平成16年10月1日至平成17年9月30日）
【会社名】	ジャパンベストレスキューシステム株式会社
【英訳名】	Japan Best Rescue System Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役 榊原 暢宏
【本店の所在の場所】	愛知県名古屋市昭和区鶴舞二丁目17番17号
【電話番号】	052（883）0791（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役管理部長 鈴木 良夫
【最寄りの連絡場所】	愛知県名古屋市昭和区鶴舞二丁目17番17号
【電話番号】	052（883）0850
【事務連絡者氏名】	取締役管理部長 鈴木 良夫
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

## 1【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

平成17年12月27日に提出いたしました第9期（自平成16年10月1日 至平成17年9月30日）の有価証券報告書の記載事項の一部に誤りがありましたので、これを訂正するため有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

## 2【訂正事項】

### 第一部 企業情報

#### 第2 事業の状況

##### 4 事業等のリスク

#### 第3 設備の状況

##### 3 設備の新設、除却等の計画

#### 第4 提出会社の状況

##### 6 コーポレート・ガバナンスの状況

#### 第5 経理の状況

##### 財務諸表等

##### (1) 財務諸表

##### 注記事項

##### 関連当事者との取引

## 3【訂正箇所】

訂正箇所は\_\_\_\_\_ 罫で表示しております。

## 第一部【企業情報】

### 第2【事業の状況】

#### 4【事業等のリスク】

(訂正前)

(略)

##### (10) 今後の事業展開について

当社は、生活救急サービスにおいて、市場ニーズとビジネスチャンスを的確に捉え、果敢に挑戦していくことが課題であると認識しており、今後も更に当社のサービスネットワークを活かした新規事業及び関係会社の設立を積極的に展開していく所存であります。

しかし、当社が推進する新規事業及び関係会社の展開が、必ずしも市場に受け入れられる保証はなく、また、推進した新規事業及び関係会社が当社の想定する収益を達成せず、今後の当社の事業拡大ならびに業績に影響を及ぼす恐れがあります。

(略)

(訂正後)

(略)

##### (10) 事業展開について

当社は、生活救急サービスにおいて、市場ニーズとビジネスチャンスを的確に捉え、果敢に挑戦していくことが課題であると認識しており今後も更に当社のサービスネットワークを活かした提携事業、新規事業、新規商品の開発、関係会社等の設立等を積極的に展開していく所存であります。

例えば、現在、旭硝子株式会社との業務提携による「旭硝子ガラスの救急車」事業、株式会社I N A Xとの共同出資会社「株式会社水の救急車」による水まわりサービス事業、セコム株式会社とセコムテクノサービス株式会社との共同出資会社「セコムウィン株式会社」による高機能防犯性ガラスの取り付け施工事業等の企業との提携を行うことによって事業の拡大を図っております。また、現在、当社の会員事業について、バイク会員に関してはバイクメーカーと、また生活会員に関しては、大学生協同組合や不動産賃貸事業を行っている企業と提携しております。

しかしながら、将来において、これら提携事業、新規事業、新規商品の開発及び関係会社等の展開等の状況予測が容易ではなく、また、必ずしも市場に受け入れられる保証はないことから、当社の想定する収益を達成せず、今後の当社の事業拡大ならびに業績に影響を及ぼす可能性があります。また、将来において、これら事業提携が解消となった場合には、当社の事業拡大並びに当社の業績に影響を及ぼす可能性があります。

(略)

### 第3【設備の状況】

#### 3【設備の新設、除却等の計画】

##### (1) 重要な設備の新設等

(訂正前)

事業所名 (所在地)	事業部門	設備の内容	投資予定金額		資金調達 方法	着手及び完了予定 年月		完成後の増 加能力
			総額 (千円)	既支払額 (千円)		着手	完了	
本社 (名古屋市昭和区)	全事業部門	販売管理基幹 システム	60,000	-	自己資金	平成17年 5月	平成18年 4月	販売管理能 力の強化
本社 (名古屋市昭和区)	コールセン ター	社内電話交換 機	50,000	-	自己資金	平成18年 8月	平成18年 9月	コール業務 管理の強化

##### (2) 重要な設備の除却等

該当事項はありません。

(訂正後)

事業所名 (所在地)	事業部門	設備の内容	投資予定金額		資金調達 方法	着手及び完了予定 年月		完成後の増 加能力
			総額 (千円)	既支払額 (千円)		着手	完了	
本社 (名古屋市昭和区)	全事業部門	販売管理基幹 システム	60,000	-	自己資金	平成17年 5月	平成18年 4月	販売管理能 力の強化
本社 (名古屋市昭和区)	コールセン ター	社内電話交換 機	50,000	-	自己資金	平成18年 8月	平成18年 9月	コール業務 管理の強化

(注) 販売管理基幹システムは、代金回収システム(平成17年7月26日提出有価証券届出書 18百万円)の機能を統合し他の機能も増強したため、投資予定額が60百万円に増加いたしました。

##### (2) 重要な設備の除却等

該当事項はありません。

## 第4【提出会社の状況】

### 6【コーポレート・ガバナンスの状況】

(訂正前)

(略)

#### (4) コーポレート・ガバナンスの充実にに向けた取り組みの最近1年間の状況

取締役会は毎月1回以上開催されており、経営方針及び重要な業務執行の意思決定を迅速に行い、かつ効率的な経営監視体制が執られております。

当社は監査役制度を採用しており、常勤監査役を中心とした計画的かつ網羅的監査の実施がなされております。監査役は取締役会に出席し、必要に応じて意見を述べると共に重要な書類等の閲覧を行う他、内部監査人との連携を密にし、独立した立場から経営の監視を行っております。監査役による定期的な協議は、取締役会に連動して毎月1回以上開催されております。内部監査人、監査役及び監査法人は、緊密な連携を保つため、積極的な情報交換を行っております。また、必要に応じて共同監査を実施いたします。なお、3名の監査役の内、2名は社外監査役となっております。

代表取締役の特命に基づき、当社の全部署を対象として、業務の適正な運用、改善、能率増進を図るとともに、財産を保全し、不正過誤の予防に資することを目的として、内部監査を計画的に実施しております。

顧問弁護士及び弁理士等から必要に応じてアドバイスを頂く等、適切な助言と指導を受けられる体制を整えております。

現在、会計監査人は選任されておりませんが、四半期、中間期及び期末決算時に監査法人による会計監査を受けております。

(略)

(訂正後)

(略)

#### (4) コーポレート・ガバナンスの充実にに向けた取り組みの最近1年間の状況

取締役会は毎月1回以上開催されており、経営方針及び重要な業務執行の意思決定を迅速に行い、かつ効率的な経営監視体制が執られております。

当社は監査役制度を採用しており、常勤監査役を中心とした計画的かつ網羅的監査の実施がなされております。監査役は取締役会に出席し、必要に応じて意見を述べると共に重要な書類等の閲覧を行う他、内部監査人との連携を密にし、独立した立場から経営の監視を行っております。監査役による定期的な協議は、取締役会に連動して毎月1回以上開催されております。内部監査人、監査役及び監査法人は、緊密な連携を保つため、積極的な情報交換を行っております。また、必要に応じて共同監査を実施いたします。なお、3名の監査役の内、2名は社外監査役となっております。

代表取締役の特命に基づき、内部監査人1名を任命して、当社の全部署を対象として、業務の適正な運用、改善、能率増進を図るとともに、財産を保全し、不正過誤の予防に資することを目的として、内部監査を計画的に実施しております。

顧問弁護士及び弁理士等から必要に応じてアドバイスを頂く等、適切な助言と指導を受けられる体制を整えております。

現在、会計監査人は選任されておりませんが、四半期、中間期及び期末決算時に監査法人による会計監査を受けております。

(略)

## 第5【経理の状況】

### 【財務諸表等】

#### (1)【財務諸表】

注記事項

#### 【関連当事者との取引】

第9期（自平成16年10月1日至平成17年9月30日）

（訂正前）

#### (1) 役員及び個人主要株主等

該当事項はありません。

#### (2) 子会社等

属性	会社等の名称	住所	資本金又は出資金 (千円)	事業の内容又は職業	議決権等の所有(被所有)割合 (%)	関係内容		取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
						役員の兼任等	事業上の関係				
関係会社(当該関係会社の子会社を含む)	セコムウイン株式会社	東京都中野区	15,000	防犯ガラスの販売	33.3	兼任 1人	防犯ガラスの施工請負	防犯ガラスの交換工事等	売上高 367,434 外注費 54	売掛金	20,162
										未収入金	561
										立替金	6,274
	株式会社水の救急車	名古屋市昭和区	75,000	水まわり事業	40.0	兼任 2人	水まわり施工請負	水まわりの保守等	売上高 4,636 外注費 124,636	売掛金	480
										買掛金	15,337
										立替金	42,815
	BLUE AMBULANCE株式会社	愛知県小牧市	11,750	ガラス割替	20.0	兼任 1人	ガラス関連施工	ガラス交換工事等	売上高 167,329 外注費 1,183,943	売掛金	16,774
										買掛金	62,151
										立替金	244

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

防犯ガラスの販売については、市場価格を勘案して一般取引条件と同様に決定しております。上記金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。

(訂正後)

(1) 役員及び個人主要株主等

該当事項はありません。

(2) 子会社等

属性	会社等の名称	住所	資本金又は出資金(千円)	事業の内容又は職業	議決権等の所有(被所有)割合(%)	関係内容		取引の内容	取引金額(千円)	科目	期末残高(千円)
						役員の兼任等	事業上の関係				
関係会社(当該関係会社の子会社を含む)	セコムウイン株式会社	東京都中野区	15,000	防犯ガラスの販売	33.3	兼任1人	防犯ガラスの施工請負	防犯ガラスの交換工事等	売上高 ( 1 ) 367,434	売掛金	20,162
	株式会社水の救急車	名古屋市昭和区	75,000	水まわり事業	40.0	兼任2人	水まわり施工請負	水まわりの保守等	広告費の立替 ( 2 ) 213,842	立替金	42,815
	BLUE AMBULANCE 株式会社	愛知県小牧市	11,750	ガラス割替	20.0	兼任1人	ガラス関連施工	ガラス交換工事等	売上高 ( 3 ) 167,329	売掛金	16,774
									外注費 ( 4 ) 1,183,943	買掛金	62,151
									部材の立替 ( 5 ) 289,426	立替金	6,287

(注) 1. 上記の金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。

2. 取引条件及び取引条件の決定方針等

- 1 防犯ガラスの販売及びそれに付随する作業代金については、市場価格を勘案して一般取引条件と同様に決定しております。
- 2 広告費の立替は当社がタウンページ広告費の立替をしているものです。
- 3 広告プロモーション提供等に関する売上で、市場価格を勘案して一般取引条件と同様に決定しております。
- 4 当社の作業依頼に基づく外注費は、当社の料金表を基礎として決定しております。
- 5 部材の立替は当社がガラス部材の仕入代金の立替をしているものです。